

1. 実施

ジュニアテスト開催を希望する本連盟の所属団体及び本連盟会長の認める団体は、別紙「スキー、スノーボードバッジテスト開催届」を開催日の一週間前までに本連盟会長あて提出し承認を得るものとする。

2. 実施方法

テストの実施方法については、1級は実技テストとし2級以下は、講習内テストする。

3. 受検資格 12歳以下（小学生以下）とする。

4. テスト種目及びテスト基準

〔1級テストの実技テスト種目〕

a. 実技種目テストは検定員3名の評価とし、3名の平均値を当該種目の取得ポイントとする。ただし、ポイントは、小数点第1位を四捨五入とする。

○パラレルターン / 大回り 整地・中急斜面

○パラレルターン / 小回り 整地・中急斜面

○フリー滑走 / 中、中急斜面を含む総合斜面

b. 実技種目1種目当たり100ポイントとし、3種目の評価の合計が210ポイント以上をもって合格とする。

c. 1級受検者は、事前講習1単位・2時間をテスト受検までに修了すること。

〔2級テストの実技テスト種目〕

a. 実践講習テストとし、公認検定員（講師）が講習の中で「傾斜地における移動技術」の回転技術を指導し、次の内容についてテストを行う。

○回転技術としての「大回りターン」及び「小回りターン」の連続が出来る。

○講習斜面は、大回り、整地・中～中急斜面 小回り、整地・中斜面

b. 実技種目1種目当たり100ポイントとし、2種目の評価の合計が130ポイント以上をもって合格とする。

〔3級テストの実技テスト種目〕

a. 実践講習テストとし、公認検定員（講師）が講習の中で「傾斜地における移動技術」の回転技術を指導し、その運動課題の達成度を評価する。ただし、安全性の配慮を最優先とし、子供たちの楽しさ達成要求を課題として指導する。

○回転技術としての「大回りターン」が連続して出来る。

○講習斜面は、整地・中斜面

b. 実技種目1種目当たり100ポイントとし、1種目の評価の合計が60ポイント以上をもって合格とする。

〔4級テストの実技テスト種目〕

- a. 実践講習テストとし、公認検定員（講師）が講習の中で「傾斜地における移動技術」の回転技術を指導し、その運動課題の達成度を評価する。  
ただし、安全性の配慮を最優先とする。  
○初歩的な「大回りターン」が出来る。  
○講習斜面は、整地・緩中斜面
- b. 実技種目 1 種目当たり 100 ポイントとし、1 種目の評価の合計が 55 ポイント以上をもって合格とする。

〔5級テストの実技テスト種目〕

- a. 実践講習テストとし、公認検定員（講師）が講習の中で「平地における移動技術」と「傾斜地における移動技術」の制動技術と回転技術を楽しませながら指導する。  
ただし、安全性の配慮を最優先とする。  
○回転技術としてのプルークで大回りターンが出来る。  
○講習斜面は、整地・緩斜面
- b. 実技種目 1 種目当たり 100 ポイントとし、1 種目の評価の合計が 50 ポイント以上をもって合格とする。

〔6級テストの実技テスト種目〕

- a. 実践講習テストとし、公認検定員（講師）が講習の中で「平地における移動技術」と「傾斜地における移動技術」の制動技術と回転技術を楽しませながら指導する。ただし、安全性の配慮を最優先とする。  
○制動技術と回転技術が楽しんで出来る。  
○講習斜面は、整地・緩斜面
- b. 講習テストを受けて修了することの能力を評価する。

5. 結果の報告

テストを実施した開催団体長は、テスト終了後、直ちに所定の報告書に記入の上、本連盟会長に報告すること。